

I-5 保育内容

子ども一人ひとりの理解を深め、受容することは保育の基本です。子どもを受容するということは、子どもの思い分をよく聞き、保育者が子どもの気持ちに共感しなくてはなりません。保育者は常にゆったりとした気持ちで、子どもたちの思いや要求を受容することが大切です。また、保育内容については、様々な取り組みがありますが、まず、子どもと保護者の人権を尊重した上で、子ども一人ひとりの家庭環境、身体的能力、精神的成長の違いを把握して保育をすすめることが大切です。

小分類	評価項目	評価結果
(1) 子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようとする。	① 子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、穏やかに話している。	A
	② 子どもたちの要求や訴えにに対して、子どもの気持ちを受け止め、状況に即した適切な対応をしている。	A
	③ 基本的な生活習慣や生活リズムに関しは、一人ひとりの子どもの状況に即して対応している。	A
	④ 子どもが様々な活動を自由に体験できるように様々な環境を整備されている。	B
(2) 身近な生活体験の中で、命の大切さや季節感など、豊かな感性を養いつつ対応をしている。	① 身近な生活体験の中で、命の大切さや季節感など、豊かな感性を養いつつ対応をしている。	B
	② 生活や遊びを通して、数・量・形の感覚が身につくよう工夫している。	A
	③ 散歩や行事などで、子どもたちが地域の大人と接する機会を作っている。	B
	④ 身体考を促した様々な表現遊びを取り入れられている。	A
(3) 様々な表現活動が体験できるように配慮されている。	① 様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている。	B
	② 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	A
	③ 壁紙の場面では、危険のないように注意しながら、子どもたちのプランド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するよう援助している。	B
	④ 順番を待てるなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	A
(4) 近い将来の生活のために、様々な習慣やルールを身につけていくように配慮している。	① 睡眠の場面では、危険のないように注意しながら、子どもたちのプランド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するよう援助している。	A
	② 睡眠を促すなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	A
	③ 睡眠の場面では、危険のないように注意しながら、子どもたちのプランド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するよう援助している。	A
	④ 睡眠を促すなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	A
(5) 様々な表現活動が体験できるように配慮されている。	① 様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている。	A
	② 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	A
	③ 壁紙の場面では、危険のないように注意しながら、子どもたちのプランド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するよう援助している。	A
	④ 順番を待てるなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	A
(6) 様々な表現活動が体験できるように配慮されている。	① 様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている。	A
	② 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	A
	③ 壁紙の場面では、危険のないように注意しながら、子どもたちのプランド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するよう援助している。	A
	④ 順番を待てるなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	A
(7) 近い将来の生活のために、様々な習慣やルールを身につけていくように配慮している。	① 睡眠の場面では、危険のないように注意しながら、子どもたちのプランド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するよう援助している。	A
	② 睡眠を促すなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	A
	③ 睡眠の場面では、危険のないように注意しながら、子どもたちのプランド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するよう援助している。	A
	④ 睡眠を促すなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	A

小分類	評価項目	評価結果
(1) 長時間にわたる保育のための環境を整備している。	① 長時間にわたる保育のための環境を整備され、保育の内容や方法に配慮している。	B
	② 保護者の理解のもと、関係機関、医療機関等との連携を図り、必要に応じて助言・援助を行っている。	B
	③ 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	B
	④ 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
(2) 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	① 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
	② 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
	③ 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
	④ 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
(3) 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	① 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
	② 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
	③ 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A
	④ 様々な生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	A

I-6 入所児童の人権尊重

人権を尊重する保育は、保育の基本であり、文化や考え方の違いをお互いに尊重できるように心がけたいものです。保育現場においても、多くの外国人がおり、文化や生活習慣の違いなどを正しく理解し、互いに尊重する対応が求められます。また、性差意識についても無意識の内に性別による指示を不用意に出していないか、日頃から職員間で相互に確認しあうことが大切です。

小分類	評価項目	評価結果
(1) 子ども一人ひとりに十分配慮することともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を持つよう配慮している。	① 子どもが自分の思いや意見を、はっきり言うことができるよう配慮し、それを尊重している。	B
	② 一人ひとりの子どもたちの心身の状況、生活習慣や文化、家庭の事情、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てている。	A
	③ 子どもの理解、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮している。	B
	④ 日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、国の意向や連絡事項が正しく伝わるよう、努力や工夫をしている。	B
(2) 外国籍や帰国子女の子どもに対して、適切な配慮がなされている。	① 外国籍や帰国子女の子どもに対して、適切な配慮がなされている。	A
	② 外国籍や帰国子女の子どもに対して、適切な配慮がなされている。	A
	③ 外国籍や帰国子女の子どもに対して、適切な配慮がなされている。	A
	④ 外国籍や帰国子女の子どもに対して、適切な配慮がなされている。	A

(6/6/24)

① 安全管理、環境整備

- ・ 園舎内、外での安全点検と定期点検以外でも日々職員から目を向けていく。
- ・ 防災具等にはエイゴ教育確認いやがす方を周知し、遊び

② 保護者との関係づくり

- ・ 新入園児の食事等丁寧に見守りながら給食の提供や園生とつながり
- ・ 日頃のコミュニケーションを意図的に取り中で、保育の理解や育児相談に

③ 職員間の連携

- ・ 保育士、栄養士が会議、打ち合わせをすすめるから保育に臨むことができた。保育士、栄養士の共有をより深めていく。